



# あなたは、あなたのままで いいんだよ

学校子ども達との純粋で心温まる彼女の話は聞く人の魂を大きく揺さぶる。病気や障がいの意味があること。人生の困難や障がいを宝に変えて生きる人々が描く、涙と感動のドキュメンタリー。



山元加津子 ドキュメンタリー映画上映会

## 「1/4の奇跡 ~本当のことだから~」

平成21年7月5日(日)

場所:幸田町民会館つばきホール

13:00開場 13:30上映(100分)

前売り:1,000円/当日:1,500円 (空席がある場合)

託児500円(20名要予約) 託児場所:ももの木保育園 申し込み方法裏面参照

主催:NPO法人ももの木保育園 子ども発達支援センター桃っこ

★山元加津子さんプロフィール

石川県で養護学校の先生をしている。愛称は、“かつこちゃん”。1957年金沢市生まれ。富山大学理学部卒。どんな事でも、どんな人でも分けることなく、ありのままに受け入れ、興味を持ち、共に楽しむ授業は、子ども達に多くの奇跡を生んだ。教える子の雪絵ちゃんとの「一人一人が違っていて良いつて言ったよね。それを世界中の人が知ってる世の中にして！」という約束を果たす為、国内外での講演や著作活動等多方面に活躍中。教師、主婦、作家、母親という4役を自然体でこなし、多くの方に優しく接する姿は、「魔女」とも呼ばれている。

著書に「心の痛みを受け止めること」「魔女・モナの物語」「本当のことだから」など多数。

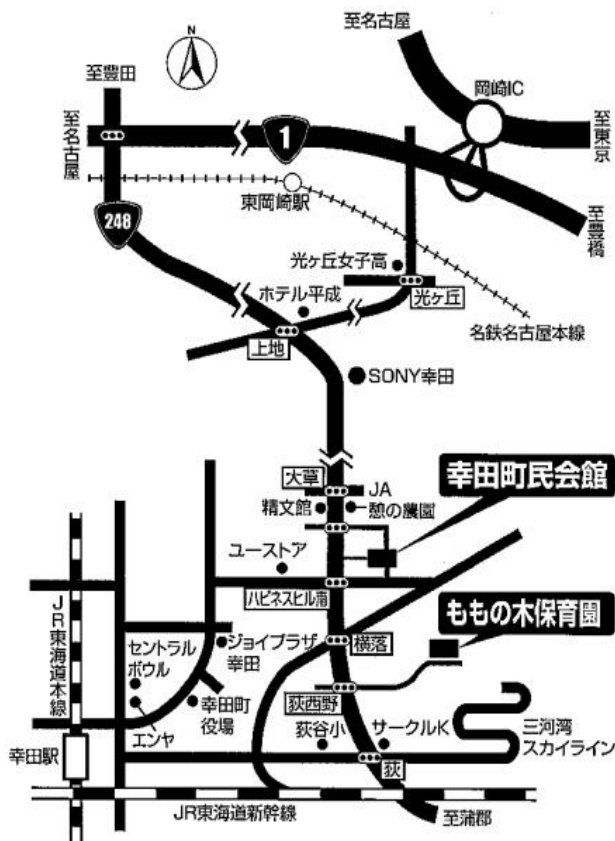


## 映画上映会を開催するにあたって

NPO法人ももの木保育園は幸田町遠峰山麓のふもとで 24 年間、障がい児と健常児との統合保育を行ってきました。大自然の中で季節の風や小鳥のさえずりをききながら子どもたちの発達の道すじを大切に育て保育をしています。2006 年度より障害者自立支援法に基づく障害児童デイサービス事業「子ども発達支援センター桃っこ」を開設しました。現在の利用者は言葉の遅れ、軽度発達遅滞、ダウン症、ソス症候群、肢体不自由等です。子どもたち一人ひとりにあった手立てを早い時期にはじめることを大切にしています。桃っこでの日々の療育は自ら自由に動けない子どもなどは体を温めるために腰湯をしたり、緩めるためにロールマット(マットをロール状にしてうつ伏せで上へのり、身体をマッサージしながら緩めていくこと)、リズムあそびを行うことが中心です。腰湯をすることで汗をかき、ロールマットをすることで体の歪みがまっすぐになって身体が楽になります。そのことで、とても喜び合っています。普段私たちが当たり前と思っていることに喜びを感じられる、笑顔のたえないそんな素敵な場所です。

山元加津子さんの著書、映画に出会い、「一人ひとりが大切で、ありのままがいいんだ」ということを再確認することができました。多くの方と温かくて、大切なメッセージを共有したいと思い映画の上映会に取り組みました。

子ども発達支援センター桃っこスタッフ



主催：NPO法人ももの木保育園  
子ども発達支援センター桃っこ

額田郡幸田町大字菰字流し石29番地5  
TEL：0564-62-2390  
FAX：0564-62-0400  
momonoki@m3.catvmics.ne.jp

申込み方法：メールか FAX。(無い場合は TEL)  
託児は先着順。申込み後下記に振込み。入金確認後チケットを発送いたします。

参加費振込先：郵便局振替口座 (青い用紙)  
口座番号：00810-2-101709  
加入者名：ももの木保育園

\* 託児料金は当日精算